

科名 血液内科

血内-137

対象疾患名 再発急性前骨髄球性白血病

プロトコール名 JALSG APL205R 移植前処置

R p	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	
1	点滴注	側管	ブスルフェクス 生食or5%ブドウ糖	0.8mg/kg ブスルフェクスの10倍量	2時間かけて 6時間ごと												
2	点滴注	側管	ブスルフェクス 生食or5%ブドウ糖	0.8mg/kg ブスルフェクスの10倍量	2時間かけて 6時間ごと												
3	点滴注	側管	ブスルフェクス 生食or5%ブドウ糖	0.8mg/kg ブスルフェクスの10倍量	2時間かけて 6時間ごと												
4	点滴注	側管	ブスルフェクス 生食or5%ブドウ糖	0.8mg/kg ブスルフェクスの10倍量	2時間かけて 6時間ごと												
5	点滴注	側管	アルケラン 生食	70mg/m ² 100mL	30分かけて												
			幹細胞輸注 G-CSF														

~ MEMO ~

・ブスルフェクス

10倍量の生食or5%ブドウ糖液に添加し、十分に混和して使用する。

6時間ごとに投与。溶解後8時間以内に使用する。

中枢神経障害によるけいれん予防のため投与前日から投与終了後24時間までバルプロ酸(デパケン)を内服する。

専用ルートを使用(回路名: JY - A841PL DEHPフリー PNロック)

60才以上、または肝障害のある患者は0.7mg/kgに減量

・アルケラン

混濁の可能性があるためアルケラン投与前後には生食にてルートをフラッシュする。

希釈後は経時的に安定性が低下するため1.5時間以内に投与を終了する。

60才以上、または不整脈、腎機能障害のある患者では70%doseに減量を考慮する